

特別活動学習指導案

日時	平成23年 11月11日(金)	1校時
会場	3年3組教室	(北校舎3階)
生徒	3年3組	(男20名 女15名 計35名)
授業者	佐藤賢太郎	

1 題材名 進路決定の準備 ～自分を見つめ直そう～

2 題材について

(1) 学習者観

- ・大きな行事をほぼやり遂げた今、いよいよ進路希望確定の時期に来たと全員が感じており、自らの生活面、学習面の見直しを個人、学級ともにつけ始めている段階にある。
- ・「自己アピールカード」の記入場面において、自分のこれまでの取り組みにおいて頑張ってきたことをどう整理し、そう表現すればよいのかをまとめることができず、アピールに苦悩している様子を見せる生徒が大多数であった。
- ・取り組みに行き詰まった際に、4人組の中で分からないことを打ち明けて仲間に考え方を聞く、一緒に教え合いながら考える、という姿勢が弱い生徒が多い。

(2) 学習材観

- ・特別活動の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」ことである。本題材は特別活動の内容(3)「学業と進路」にあたるものとして、これからまさに中学校を卒業して社会へと飛び出していく、その大きな難関である高校入試において、決して受け身ではなく積極的に自己理解や自己実現の意欲向上を図ることをねらいとしている。

(3) 学習指導観

- ・行事や部活動等でのこれまでの実績について語ることにとどまらず、「その活動を通して自分の中で何が変わったのか」、「自分のどんな部分を磨くことができたのか」という自らの内面に対してじっくりと振り返ることで自己理解を深めることはとても重要であると考える。
- ・生まれて初めての進路選択の場面を目前に控えたこの時期に、自己理解に加えて世の中で求められている人間像を見極める活動を通して「こんな自分にふさわしい進路はどこか」、「進みたい進路に対し自分の中でまだまだ磨かなければならない面はどこか」という具体的かつ前向きな指針をもってこれからの学校生活を高めていく流れを作りたい。

(4) 研究とのかかわり

- ・「共有の課題」、「ジャンプの課題」の双方において「協同の場」を設け、「自分の中の基準」ではなく「社会の基準」に照らし合わせて自身の良さや課題を認識し、その上で、今後の取り組みにおける目標を定めさせたい。
- ・「ジャンプの課題」の追求・解決場面において、今後の生活における目標をできる限り具体的に定め、「表現の場」を通してその想いを交流することで、互いにその決意を深めることを促したい。

3 題材の目標と評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
目標	人間としての生き方を学ぶこと、働くことなどに関心をもち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。
評価規準	・自己の向上のために、積極的に自分を振り返りながら今後の目指すべき姿について考えようとする。	・自己の向上のために現状をしっかりと捉えながら、今後に向けて目指すべき方向性について考え、判断している。	

5 本時の指導

(1) 目標

進路実現に向け、自己理解と社会で求められる人間像の双方をとらえて、これからの自分に必要な努力目標を設定することができる。

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
1 修学旅行の研修先での学びを振り返る。	○研修のレポートからいくつか紹介し、そのときの様子を交流する。	○研修先の方々の働きぶりやメッセージから、社会で大切にされていることを想像する。	[集団活動や生活への関心・意欲・態度] 社会で求められる人間像について考えようとする。 〈観察〉 A：傾向を捉えながら空欄を埋めようとしている。
2 共有の課題を把握する。	「世の中で求められている人間像」をつかもう		
3 共有の課題を追求・解決する。 ①プリントに取り組む。 ②自身の自己アピールカードを分析する。	○空欄にあてはまる言葉を考える中で、どんな人間が世の中で求められているのかを知る。 ○自己アピールカードに書いた内容を分析し、観点別に整理する。	○4人組で考える。 ○空欄の言葉をもとに、社会で大切にされている観点を分類する。 ○社会で大切にされている観点と、自己アピールカードの内容との共通点や相違点を確認する。	
4 ジャンプの課題を把握する。	自分を見つめ直し、 「社会に求められる自分」になろう		
5 ジャンプの課題を追求・解決する。 ①自己・他者評価をする。 ②これからの目標を定める。	○自己評価と他者評価をもとに自分の「良さ」と「課題」を確認する。 ○目指す進路を考えて、これからの目標を定める。	○「良さ」と「課題」の両面から仲間を他者評価する。 ○「良さ」を伸ばすために、「課題」を克服するために、という視点でこれからの目標を考えさせる。	
6 学習のまとめをする。	○目標を発表し、交流する。	○互いのこれからの目標を交流し合うことで、決意を深めさせる。	

